

主な施設

催し

子供・子育て

福祉・保険

保健所

環境

募集

税・手続き

その他



動物園からの手紙

[331]

旭山たぐまで遅しく成長したライラの大往生

10月のクロヒヨウのパックに続き、11月に、もうじゅう館のアムールトラのノンとライオンのライラが命を閉じました。もうじゅう館は旭山動物園の老朽化した施設の建替え第1弾で、本州の大手設計事務所に頼ることなく、一からメイドイン旭川でした。いかに動物たちを輝かせるのか、いかに来園者の離れゆく気持ちを引き戻すことができるのかがテーマでした。

ノンもライラもパックも当時の主役でした。それぞれに思い出はあるのですが、今回はライラについてです。

ライラはその相方レイラと共にもうじゅう館完成の1年前、平成9年に動物商を通し



レイラ (左) とライラ

て来園しました。先代のベルとトラが相次いで老衰で死亡したからです。当時1歳で、まだ幼さが残っていました。異常に臆病でした。手拭いを手に取り汗を拭いたり、デッキブラシを持っていたりするとおびえた表情をします。実は2頭とも前足の爪を抜か

れた個体でした。幼い頃にごこのサーカスカ触れ合い施設に移され、爪を抜かれたのだと推察されました。

手拭いを振り回すと、うずくまりおびえるのです。おそらく調教されていたのでしょう。まさか、うちにそんな個体が来てしまうとは、と愕然としました。でも、旭山に来たのも何かの縁、この大きさに成長した、爪の抜かれた個体を引き取ってくれる園が見つかると可能性はほとんどありません。よし、こいつらで繁殖を目指そう！となりました。

できるだけプレッシャーを掛けないよう細心の注意を、狭い施設(旧猛獣舎)でしたが、安心して自由に振る舞ってもいいんだと2頭が感じられるように腐心しました。

新しくなったもうじゅう館に引越し、ライラは遅く成長しました。ライラが吠えたと寝室内の金属の扉や窓が共振してびりびり音がします。本能的な恐怖さえ感じるすみでした。レイラと共に9頭の子を育て上げ、21歳の大往生でした。

税・手続き

口座振替済通知書を1月に送付します

次の①～⑥の平成29年1月～12月の口座振替分をまとめた「口座振替済通知書」を、1月22日以降に送付します。事前に必要な場合は、各担当課にお問い合わせください。

なお、軽自動車税については、6月に送付しています。

- ①市・道民税 ②固定資産税
- ③国民健康保険料 ④後期高齢者医療保険料 ⑤介護保険料
- ⑥母子福祉資金等償還金
- ①～③納税管理課 ☎25・5917、④国民健康保険課 ☎25・8536、⑤介護高齢課 ☎25・5356、⑥子育て助成課 ☎25・9107

市税と国民健康保険料の夜間・休日納付相談窓口

- ☎ 12月21日(木)、1月11日(木)・25日(木) 午後8時^{まで}
- ☎ 1月28日(日) 午前9時～午後5時
- 〒函納税推進課(総合庁舎2階 ☎25・5980)

確定申告会場の開設期間

来年の確定申告会場は、2月16日(金)～3月15日(木)(土・日曜日を除く)に旭川北洋ビル9階(4の9)で開設します。

受付時間 午前9時～午後4時

※税務署内には、申告会場を開設していません。